

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、公共投資は持ち直しているほか、設備投資は増加している。また、個人消費は、底堅く推移しており、住宅投資は増加している。

生産は緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は保合いとなっている。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・持ち直し

12月の公共工事請負金額は、市町村の発注は減少したものの、国、独立行政法人等が増加したため、全体では5か月連続で前年を上回った（前年比96.6%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2016年 3月	6月	9月	2016年 10月	11月	12月
山形県	▲41.3	▲0.3	33.4	4.3	r 76.5	96.6

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資・・・増加

11月の建築着工床面積（民間非居住用）は、農林水産、運輸などは減少したものの、製造業、卸・小売などが増加したため、全体では2か月連続で前年の水準を上回った（前年比2.2倍）。12月短観における2016年度の設備投資計画（全産業）は、非製造業を中心に下方修正された（前年度比26.1%<前回調査比修正率▲7.2%>）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2015年 12月	2016年 3月	6月	2016年 9月	10月	11月
山形県	▲67.6	47.5	2.7倍	▲57.9	2.0倍	2.2倍

<資料>国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2016年12月山形短観） 前年度比、%

山形県	2014年度（実績）	2015年度（実績）	2016年度（計画）
全産業	19.7	▲9.8	26.1<▲7.2>
製造業	37.0	▲22.3	45.8<▲1.7>
非製造業	▲2.0	12.1	2.1<▲15.4>

<資料>日本銀行山形事務所

< >内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・底堅く推移

11月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、飲食料品などが前年を上回ったことから、全体では6か月連続で前年の水準を上回った（前年比2.1%）。

家電販売は、パソコン、白物家電（冷蔵庫、洗濯機等）などが減少していることから前年の水準を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2016年 1~3月	4~6月	7~9月	2016年 9月	10月	11月
全店	1.6	0.2	1.9	0.8	4.3	2.4
既存店	1.2	0.3	1.9	0.9	4.0	2.1

＜資料＞経済産業省

12月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、3か月連続で前年の水準を上回った（前年比18.6%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 10月	11月	12月
乗用車 (含む軽)	▲8.9	▲2.4	▲2.0	1.1	r 22.0	18.6
乗用車 (除く軽)	▲5.7	10.3	2.8	▲1.4	29.3	16.3

＜資料＞東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

(4) 住宅投資・・・基調としては増加

11月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家は減少したものの、分譲は増加したため、全体では前年並みの水準となった（前年比0.0%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2015年 12月	2016年 3月	6月	2016年 9月	10月	11月
山形県	12.6	6.0	▲6.1	▲7.6	56.4	0.0
持家	▲9.3	▲25.9	▲9.2	▲6.7	5.9	▲5.2
貸家	25.6	2.2倍	34.1	▲8.1	2.5倍	▲3.9
分譲	72.0	88.0	▲45.7	▲11.8	56.8	32.3

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・緩やかに持ち直し

10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、3か月ぶりに低下した(前月比▲4.7%)。業種別には、電子部品・デバイス、家具など9業種は上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械など13業種は低下した。

10月の在庫指数(季節調整済)は、2か月ぶりに上昇した(前月比2.6%)。

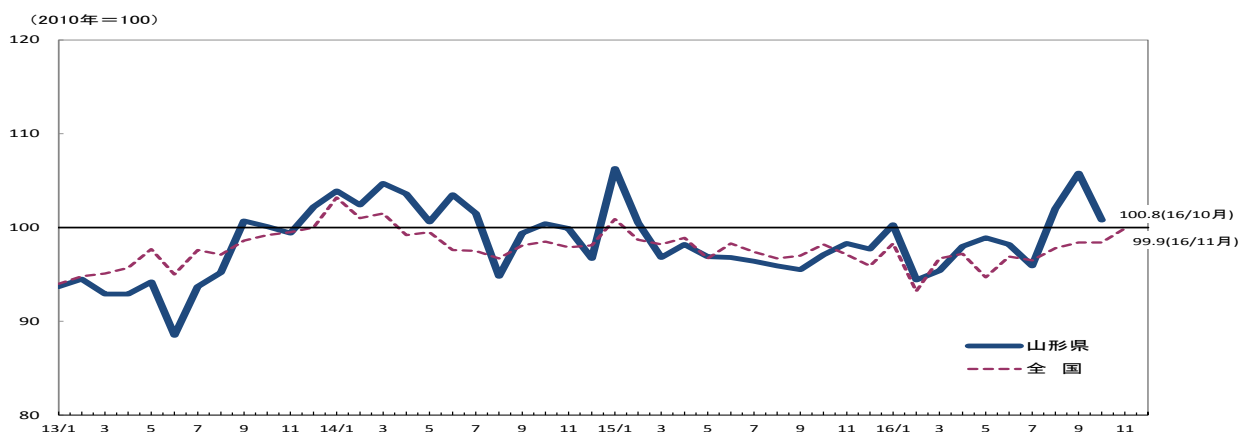
(図表7) 鉱工業指数

2010年基準

山形県		2015年 12月	2016年 3月	6月	2016年 8月	9月	10月
生 産	季節調整済前月比%	▲0.6	1.1	▲0.7	6.4	3.7	p ▲4.7
	原指数前年比%	1.4	▲1.1	0.5	7.6	11.5	p 2.9
在 庫	季節調整済前月比%	▲0.1	1.4	▲2.8	1.9	▲1.5	p 2.6
	原指数前年比%	0.2	3.3	▲3.3	0.2	▲1.4	p ▲1.1

<資料> 山形県企画振興部

(図表8) 鉱工業生産指数(季節調整済)の推移



<資料> 経済産業省、山形県企画振興部

4. 雇用・所得環境・・・改善

11月の有効求人倍率は、1.31倍となった。業種別には、宿泊・飲食の新規求人は減少したものの、卸・小売、医療・福祉などは増加した。11月の雇用保険受給者は、7か月連続で前年の水準を下回った(前年比▲4.6%)。

(図表9) 雇用関係指標(その1)

倍、%、<>内は前年比

山形県	2016年 1~3月	4~6月	7~9月	2016年 9月	10月	11月
有効求人倍率	1.24	1.33	1.29	1.30	1.34	1.31
有効求職者数	<▲3.1>	<▲6.0>	<▲6.2>	<▲6.2>	<▲5.5>	<▲2.2>
有効求人数	<3.7>	<1.0>	<2.6>	<2.6>	<4.5>	<5.3>
完全失業率	3.0	2.8	2.2	—	—	—
雇用保険受給者	<▲2.3>	<▲5.6>	<▲6.6>	<▲6.6>	<▲4.6>	<▲4.6>

<資料> 厚生労働省、総務省、山形労働局

(注) 有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

10月の常用雇用指数は、2か月連続で前年の水準を上回った（前年比0.2%）。業種別には、建設、教育・学習支援などは前年の水準を下回ったものの、医療・福祉、宿泊・飲食などは前年の水準を上回った。

10月の所定外労働時間は、4か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲4.4%）。業種別には、卸・小売、学術研究等は前年の水準を上回ったものの、サービス、教育・学習支援などは前年の水準を下回った。

(図表10) 雇用関係指標 (その2) 2010年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2015年 12月	2016年 3月	6月	2016年 8月	9月	10月
常用雇用指数	1.9	0.5	▲0.2	0.0	0.1	0.2
所定外労働時間	▲3.5	1.9	3.9	▲5.0	▲3.7	▲4.4

<資料>山形県企画振興部

10月の現金給与総額（名目賃金指数）は、建設、サービスなどは増加したものの、卸・小売、医療・福祉などは減少したため、3か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲3.0%）。

10月のきまって支給する給与は、16か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲1.4%）。

(図表11) 所得関係指標 2010年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2015年 12月	2016年 3月	6月	2016年 8月	9月	10月
現金給与総額 (名目賃金指数)	▲5.5	0.2	0.7	1.3	0.1	▲3.0
きまって支給 する給与	▲3.3	▲0.4	▲1.6	▲1.1	▲1.5	▲1.4

<資料>山形県企画振興部

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

12月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、件数（2件）、負債総額（32.5億円）とも前年（3件、40.3億円）を下回った。

(図表12) 企業倒産 件、億円

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 10月	11月	12月
件数	9	4	5	6	2	2
負債総額	20.0	3.8	16.9	3.6	1.1	32.5

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・保合い

11月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、低下した(前年比▲0.4%)。費目の内訳をみると、生鮮食品を除く食料、教養娯楽などは上昇したものの、光熱・水道、交通・通信などは下落した。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2015年 12月	2016年 3月	6月	2016年 9月	10月	11月
総合	0.2	▲0.5	▲0.6	▲0.6	▲0.2	0.1
生鮮食品を除く総合	0.2	▲0.6	▲0.5	▲0.6	▲0.6	▲0.4

<資料>山形県企画振興部

(注) 2015年以前は2010年基準の前年比を掲載。

7. 金融

11月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年の水準を上回った(前年比0.8%)。

11月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った(前年比2.9%)。

この間、11月の貸出金利は低下した(前月比▲0.005%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2015年 12月	2016年 3月	6月	2016年 9月	10月	11月
実質預金+CD (未残前年比)	2.8	1.3	1.2	1.0	0.9	0.8
貸出金 (未残前年比)	2.7	3.6	3.6	3.7	3.1	2.9

<資料>日本銀行山形事務所

- (注) ・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2016年 1~3月	4~6月	7~9月	2016年 9月	10月	11月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.028	▲0.038	▲0.020	▲0.009	▲0.004	▲0.005

11月末水準
1.103

<資料>日本銀行山形事務所

- (注) 山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004